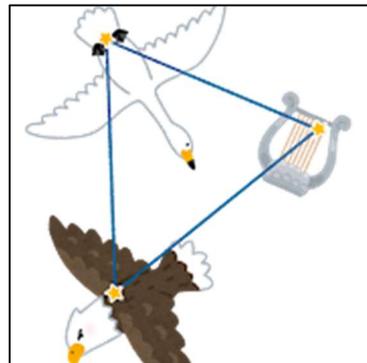




- 学校教育目標 : 地域を愛し、地域からも愛される児童の育成
- めざす学校の姿 : 美しい学校 (美しい環境&美しい心と姿の育成)
- めざす子どもの姿 : いつも笑顔で 元気! (自ら学ぶ子 心豊かな子 がんばる子)

7日(日)は、七夕です。七夕伝説は、1年に1度だけ7月7日に、天の川を渡って、織姫と彦星が会うことを許されるという物語ですが、実際には、織姫と彦星はどのような星でしょうか。夏の東の空に天の川をはさむようにして、こと座のベガとわし座のアルタイルが向かい合っています。ベガを織姫にアルタイルを彦星になぞらえるようになったのです。この二つの星は、はくちょう座のデネブを加えて、夏の大三角形と呼ばれています。ベガ(織姫)とアルタイル(彦星)の距離は15光年だそうです。これは光速で移動しても15年かかり、やっとたどり着くほどの距離です。もし、織姫が彦星に携帯電話をかけたとします。電波が光の速度と同じだと仮定すると、織姫が「もしもし」といった言葉が、彦星に届くのに15年かかります。彦星が「はいはい」と返事をして、返事が織姫に届くのに15年かかります。織姫は彦星の「はいはい」を聞くまでに30年かかることになってしまうのでしょうか。こんなことを考えると、風情はなくなってしまいそうですが、実際はとても遠く離れているのですね。ちなみに地球からの距離は、ベガまでが25光年、アルタイルまでが17光年、デネブまでが1400光年あるそうです。



<家庭科の調理実習～6年生の学習、班の活動の仕方に感心しました。～>

6月27日(木)5、6時間目に6年生が、家庭科の学習で調理実習に取り組みました。献立は「いろどり炒め」と「スクランブルエッグ」です。6班に分かれての調理実習です。事前の学習で、調理の仕方、役割分担を決めていました。手順や気を付けることを確認して、調理実習がスタートです。まず「いろどり炒め」からです。ニンジン、タマネギ、ピーマン、ハムを切ります。火が通りやすい大きさに手を切らないように上手に切っていました。いよいよ炒めます。フライパンを熱し箸で焦がさないように混ぜながら炒めていました。塩と胡椒で味付け。美味しくなるように慎重に味付けをしていました。私も食べさせてもらいましたが、とても美味しくできていました。スクランブルエッグも一人ずつが卵をボールに割り入れ、牛乳と混ぜ、バターと油で炒めました。どの班も上手においしく作ることができていました。怪我無く美味しく出来たことに感心もしましたが、班での活動の仕方に、もっと感心しました。自分の役割をきちんと取り組む姿。使い終わった調理器具を率先して洗い、片づける人。「切るの上手。」「ありがとう。」お互いを褒めたり、感謝したりする言葉をたくさん聞くこともできました。6年生みなさん、ありがとうございました。お疲れさまでした。これからも中洋小学校のリーダーとしてよろしくお願いします!



【調理実習の様子。】